

# 経済日誌 (3.1~3.31)

## 国内外

### 3.8◇IHI、不正検査211件

重工大手のIHIは航空機エンジン整備の無資格検査問題で、過去2年間で211件の不正が見つかったと発表した。不正は少なくとも2017年1月から続いており、2018年4月に内部告発があったが見過ごされた。調査は継続中で不正件数はさらに拡大する恐れがある。

### 3.20◇景気判断、3年ぶり引き下げ

政府は3月の月例経済報告で、景気の全体像を示す総括判断を2016年3月以来、3年ぶりに引き下げた。中国経済の減速が響き、輸出や企業の生産活動が鈍っているためだが、消費の底堅さなどから戦後最長の景気拡大が続いているとの認識は維持している。

### 3.20◇トヨタ・スズキ、協業拡大

トヨタ自動車とスズキは、開発や生産に関し、提携を拡大する方向で検討を始めると発表した。トヨタのハイブリッド車(HV)のシステムをスズキに供給する。これまでのインドやアフリカに加え、欧州にも協力を広げ、世界市場での補完関係を強化する。

### 3.21◇セブン、脱24時間へ実験

セブン-イレブン・ジャパンは24時間営業の見直しに向けた実験を全国の直営店10店で始めた。住宅地や繁華街など立地に応じて営業時間を3パターンに分けて実施し、収益や来店客数の変化などを検証する。今後フランチャイズ(FC)加盟店でも実験を実施する方針。

## 県内

### 3.5◇詐欺被害防止へアプリ開発

秋田県立大などの研究チームが、高齢者の詐欺への抵抗力を診断するウェブアプリを開発した。アプリは四者択一の全83問に答えると、「オレオレ詐欺」「還付金詐欺」「架空請求詐欺」「融資保証金詐欺」の4タイプの詐欺への抵抗力が診断され、細かい助言も受けられる。

### 3.8◇秋田道、一部4車線化へ

国土交通省は、高速道路の4車線化に向けた拡張工事で2019年度から財政投融資を行う候補箇所に、秋田道の横手インターチェンジ(IC)ー湯田IC間の一部約7.7キロを選んだと発表した。総事業費は400億円で、4月以降に具体的な工事計画を策定する。

### 3.14◇化粧品の原料を研究

化粧品メーカーのアルビオン(東京)は、秋田県立大学生物資源学部と包括連携協定を締結した。同社は2010年に藤里町へ研究所を開設し、化粧品の原料となる植物約50種類を栽培している。今後は共同研究を推進し、新たな美容成分の開発や人材育成などに取り組んでいく。

### 3.19◇公示地価、秋田駅前27年ぶり上昇

国土交通省が公表した2019年の公示地価(基準日1月1日)によると、県内の商業地、住宅地の平均価格(1平方メートル当たり)はともに14年連続で全国最下位となった。しかし、県内最高価格地のJR秋田駅前が27年ぶりに上昇に転じるなど、明るい兆しもみられた。